

令和6年度  
年報





## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。

3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。

4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	960円	1人に 800円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			103,980円
講堂	15,030円	17,350円	26,640円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,430円	1人に 1,240円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,360円	1人に 1,750円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	3,580円	1人に 2,780円 つき

## ■ 令和6年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	890点
寄贈資料受入れ総数（同上）	5,090点
計	5,980点
整理・保存 閲覧	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等 利用者 延 2,608人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (308日間)	6,441	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約1,350点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 虚子・年尾と北海道	4/20(土) ～ 6/9(日) (44日間)	1,841	高濱虚子生誕150年にあたる今年、貴重な資料の展示を中心に、虚子・年尾というふたりの俳人が北海道にのこした足跡と、「ホトトギス」に関する道内作家たちの活躍などを紹介。
特別展 絵本作家 降矢なな原画展	6/22(土) ～ 8/25(日) (56日間)	4,405	降矢なな（ふりや・なな、1961年～）は、スロバキア共和国在住の絵本作家。多くの絵本や児童書の挿絵で活躍中。ダイナミックな線と構図、明快な色彩……物語にふさわしい表現を駆使して子どもたちが絵本の世界であそび、夢中になれる工夫を凝らしている。 本展では、代表作を中心とした原画を紹介。
特別展 氷室冴子の世界 ふくれっつらの ヒロインたち	9/7(土) ～ 11/10(日) (57日間)	3,527	氷室冴子は、岩見沢市出身の小説家。岩見沢東高等学校を経て藤女子大学文学部国文学科に進学し、在学中にデビュー。1980年代から90年代にかけて集英社の少女向け小説レーベル「コバルト文庫」の代表作家として活躍した。 平安時代を舞台にした「なんて素敵にジャパネスク」、スタジオジブリでアニメ化された「海がきこえる」、古代日本をテーマにしたファンタジー「銀の海 金の大地」など数々の人気作を生み出した。 氷室作品に登場する、自分の感情に素直に生きる「ふくれっつら」のヒロインたちは、時代を超えて生き生きとした魅力を放っている。 多くの読者に愛され続ける氷室冴子の作品世界を多彩な資料とともに紹介。
ファミリー文学館 雪が降る一本の中にも、 文字の上にも……	11/23(土) ～ 1/19(日) (45日間)	1,711	「ファミリー文学館」は、子どもから大人まで幅広い年代の人たちを対象にした、展覧会と体験型の内容を組み合わせる実施する事業である。今年度は、「雪」をテーマに、各ジャンルの文学作品に描かれた「雪・冬」の情景を当館所蔵作品の中から紹介。
特別展 木原直彦と北海道の文学	2/1(土) ～ 3/23(日) (44日間)	1,003	北の地に生まれ、幾多の時代の波にさらされながら多彩な成果を紡ぎ出してきた北海道の文学。 1966年、札幌で開催された北海道文学展は大きな成功をおさめ、翌年、北海道文学館が設立、文学資料の収集とともに文学展を開催し、1995年の北海道立文学館開館へと結実した。北海道立文学館初代館長だった木原直彦は、北海道文学に関する数多くの著作を執筆している。 2025年、開館30年を迎えるにあたり、本展では、木原の眼を通して、様々なエピソードを交えながら北海道文学の歩みを回顧。

## 【常設展アーカイブ】

- ・第1期展示〔4月13日（土）～6月12日（水）〕

### 山と文学

登山家、小説家、画家。様々なジャンルで書かれた山についての資料を紹介。

- ・第2期展示〔6月25日（火）～9月16日（月・祝）〕

### 嗚呼 メレヨン島

太平洋戦争時メレヨン島で駐留した兵士の飢餓の苦しみと望郷をテーマとした柿本胤二の絵画を紹介。

- ・第3期展示〔9月28日（土）～12月28日（土）〕

### 森田たまと素木しづ

札幌で生まれ、大正初期に小説家としてデビューした2人の女性の小説家としての歩みや作品世界を紹介。

- ・第4期展示〔1月11日（土）～3月23日（日）〕

### 札幌の映画と演劇

1980年代の札幌における映画や演劇の動向を、当時の資料とともに紹介。

## (2) 常設展の展示構成

### 〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良ほか〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」原稿、北方謙三「林蔵の貌」原稿、高倉新一郎『覆刻札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」原稿、石川啄木「雲は天才である」原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」原稿、森田たま「きもの博士」原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」原稿、久保栄「火山灰地」原稿、本庄陸男「逆流」原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」原稿、中村武羅夫色紙、岡田三郎「かほちゃ談義」原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」原稿、石塚喜久三『花の海』、坂本直行カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」原稿、風巻景次郎「札幌地理学」原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」（原田康子「挽歌」掲載）、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」原稿、李恢成色紙、三浦綾子短冊（三浦光世筆）、高橋揆一郎『『伸子』覚え書き』原稿 ◆変転する現代 渡辺淳一「リラ冷えの街」原稿、北海道ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家と作品 ◆文学マップ「小説の中の北海道」

### 〈アイヌ民族の文学〉〔青柳文吉〕

知里幸恵、金成マツ、金田一京助、知里真志保、バチェラー八重子、森竹竹市、萱野茂、遠星北斗、鳩沢佐美夫、杉村キナラブック、砂沢クラ、山本多助、葛野辰次郎、宇梶静江、北原モコットゥナシ、小笠原小夜

### 〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元「北の墓標」原稿、吉村昭「北天の星」原稿、李恢成『サハリンへの旅』、寒川光太郎「(オロッコ族)」原稿

### 〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」扁額、小熊秀雄「裸婦」原画 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」原稿、和田徹三「命」原稿、河邨文一郎「オホーツク」原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修色紙

### 〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井広治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪、佐々木丁冬ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治より昭和（前期）まで 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西島〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和 20 年代より平成 7 年まで 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆現在の活動状況 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和 20 年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和 30 年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和 40 年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

Ⅲ 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率	備考
ファミリー文学館（朗読会等）	朗読会「雪が降る」 朗読：澤井貴良子（朗読講師）、安藤千鶴子（音声表現講師）	12月1日（日） 1月19日（日）	50	103	206.0%	「ファミリー文学館」展 関連事業
〃	講座「短歌・俳句・川柳に描かれた雪」 講師：田中綾（歌人）、五十嵐秀彦（俳句作家）、岡崎守（北海道俳句連盟顧問）	11月23日（土・祝） 12月7日（土） 1月11日（土）	50	104	208.0%	〃
〃	手作りコーナー「雪のカードをつくろう」	11月24日（日） 12月22日（日） 1月13日（月・祝）		38		〃
講演会・セミナー・講話等	「山と文学」講座 講師：当館学芸主幹	5月15日（水） 5月29日（水）		69		常設展（アーカイブ） 関連事業
〃	「嗚呼、メレヨン島－柿本胤二絵画展」記念講演会 講師：谷口孝男（財団理事）、当館副館長	8月11日（日）		24		〃
〃	「森田たまと素木しづ」展示解説 講師：当館職員	12月5日（木）		4		〃
〃	「札幌の映画と演劇」講座 講師：当館学芸員	2月27日（木）		19		〃
〃	対談「虚子・年尾と私」 出演：荒船青嶺（俳人）、佐藤宣子（俳人） 司会：増田植歌（俳人）	4月21日（日）	50	52	104.0%	「虚子・年尾と北海道」展 関連事業
〃	展覧会見どころ紹介講座 講師：五十嵐秀彦（俳句作家）	4月27日（土）	50	50	100.0%	〃
〃	対談「虚子の心を引き継いで」 講師：稲畑廣太郎（俳人）、星野高士（俳人） 司会：増田植歌（俳人）	5月18日（土）	140	86	61.4%	〃
〃	講演会「絵本 ～絵とテキストの関係～」 講師：降矢なな（絵本作家）	6月29日（土）	60	56	93.3%	「降矢なな」展 関連事業
〃	講演会「本はふしぎへの扉」 講師：富安陽子（児童文学作家）	7月15日（月・祝）	60	50	83.3%	〃
〃	ギャラリーツアー 解説：当館学芸員	7月27日（土）	20	7	35.0%	〃
〃	読み聞かせとワークショップ 「みんなの『きよだいな きよだいな』なんだろな」 （午前・午後開催） 講師：当館学芸員	8月10日（土）	60	21	35.0%	〃
〃	見どころ解説講座 講師：当館学芸員	8月18日（日）	50	26	52.0%	〃
〃	講演会「氷室作品のヒロインたち その魅力」 講師：嵯峨景子（ライター・書評家）	9月15日（日）	50	53	106.0%	「氷室冴子」展 関連事業
〃	文芸トーク「氷室冴子さんと私の文学少女時代」 講師：ヤリタミサコ（詩人）、聞き手：嵯峨景子	9月16日（月・祝）	50	43	86.0%	〃
〃	上映会「海がきこえる」	9月22日（日）	50	50	100.0%	〃
〃	ドキュメンタリー上映会 「没後15年 氷室冴子をリレーする」	9月29日（日）、10月9日（水） 10月23日（水）、11月6日（水）	100	70	70.0%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率	備考
講演会・セミナー・講話等	トークイベント「氷室冴子さんとコミカライズ」 講師：山内直実(漫画家)	10月5日(土)	50	47	94.0%	「氷室冴子」展 関連事業
〃	朗読劇「レディー・アンをさがして」	11月4日(月・振休)	50	34	68.0%	〃
〃	オープニングセレモニー	2月1日(土)		24		「木原直彦」展 関連事業
〃	講演会「わが小説のこと」 講師：小繪山博(作家)	2月1日(土)	50	52	104.0%	〃
〃	講座「北海道を彩った作家たち」 講師：当館学芸員	2月8日(土)、3月1日(土) 3月9日(日)、3月16日(日)	120	83	69.2%	〃
〃	ギャラリートツアー 解説：当館学芸員	2月15日(土)、2月22日(土) 3月8日(土)、3月15日(土)	50	13	26.0%	〃
〃	ミニ解説&朗読会 解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者	5回開催 2/12、2/19、2/26、 3/5、3/12	100	92	92.0%	
夏休み文学道場	「夏休み文学道場」(対面・オンライン開催)	7月19日(金)~8月30日(金)、 8月7日(水)	30	21	70.0%	
小・中・高生短歌 コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰 (募集)	7月2日(火)~9月10日(火)	4,300	7,272	169.1%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12月14日(土)		78		
〃	小・中・高生短歌コンテスト作品展示	12月7日(土)~1月19日(日)		879		
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	15回開催 5/5、6/2、7/7、7/28、7/31、8/1、 8/4、9/1、10/6、11/10、12/8、 12/15、12/22、1/12、2/2、3/2	450	352	78.2%	5/5は2回実施
映像作品鑑賞会	「山と谷と雲」	6月23日(日)	60	48	80.0%	
映像作品鑑賞会	「堂堂たる人生」	8月25日(日)	60	42	70.0%	
映像作品鑑賞会	「伊豆の踊子」	11月17日(日)	60	39	65.0%	
映像作品鑑賞会	「いのちの朝」	2月16日(日)	60	47	78.3%	
市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	20市町村22会場	1,200	1,041	86.8%	
市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	8市町村8会場	3,000	7,277	242.6%	
文字・活字文化の 振興事業	講演会「活字文化の味蕾」 講師：和田由美(出版社社長、エッセイスト)	10月27日(日)	60	29	48.3%	
古典の日記念朗読会	古典の日にちなみ、古典文学作品を朗読 源氏物語から「未摘花」 朗読：河原多恵子(言葉のアトリエ主宰)、 琴演奏：手塚早苗	11月3日(日・祝)	60	46	76.7%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵 ほか	10回開催 5/23、6/13、7/11、8/8、 9/12、10/10、11/14、 12/12、1/9、2/13、3/13	500	348	69.6%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2024」 展示室の夜間開館、ナイトギャラリートツアー、大人も楽しめる人形劇、夏の夜のコンサート、古書バザール等を実施	7月19日(金)	200	191	95.5%	観覧者数：常設 展・特別展の夜 間開館(再掲)を 加えると241人
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(308日間)	4,200	2,608	62.1%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(308日間)		761		
負担金事業計			15,500	22,349	144.2%	
※ 文学館カレッジ	知里幸恵と『アイヌ神謡集』を読み解く、加藤幸子の 人と人生、太宰治-戦後の女性小説、絵本を学ぼう、 逆順太宰治、生涯読書会の6講座	6~3月	500	373	74.6%	
※ ロビーコンサート	ハープと竖琴の調べ 演奏：ラマンブルー、たまゆり チェロコンサート 演奏：西村新一 クラシックギターコンサート 演奏：デュオ・フェル マータ他	11月2日(土)、 3日(日)、7日(木)	100	105	105.0%	
※ 中島公園 ぶんがく縁日	ぶんがく縁日、朗読会「原田康子の世界」、講演会「『古 事記』から『銀の海 金の大地』へ」、絵本交換会	10月13日(日)、 14日(月・祝)	100	440	440.0%	
※ ぶらり文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	6/27、9/11、10/24	30	39	130.0%	
※ 文学館まつり	一日限りの資料公開、講演会「日常の中にあるもの」、 親子手作りコーナー、秋のミニ色紙づくり	9月23日(月・振休)	150	64	42.7%	観覧者数：一日 限りの資料公開 (降雪展・再掲) を加えると163人
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	4/29~7/18、7/21~9/22、 9/25~12/5、2/25~3/30、 追悼展2回 4/12~22、1/25~2/9 全6回		6,485		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(308日間)	100	24	24.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間等	600	148	24.7%	
財団企画事業計			1,580	7,678	485.9%	
	合計		17,080	30,027	175.8%	

#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「虚子・年尾と北海道」展関連資料調査
- ② 特別展「絵本作家 降矢なな原画」展関連資料調査
- ③ 特別展「氷室冴子の世界」展関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「雪が降る一本の中にも、文字の上にも……」展関連資料調査
- ⑤ 特別展「木原直彦と北海道の文学」展関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「安部公房 21世紀文学の基軸」展関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「長谷川四郎とそのきょうだい」展関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「おばけのマール ほんがだいすき！」展関連資料調査
- ⑩ 次年度の特別展「文学館コレクションの輝き」展関連資料調査
- ⑪ 次年度のファミリー文学館「空を見上げる 太陽・月・星……文学」展関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

(後援)

- ① 中川町教育委員会  
第31回中川町短歌フェスティバル（令和6年5月10日～6月30日 中川町）
- ② 北海道川柳連盟  
北海道川柳大会（令和6年7月21日 札幌市）
- ③ 北海道横超会Ⅱ  
吉本隆明生誕100年記念講演会（令和6年10月13日 当館）
- ④ 北海道詩人協会  
北海道詩人協会2024北の詩祭（令和6年11月12日 札幌市）
- ⑤ 北海道芸術文化アーカイヴセンター  
シンポジウム「北海道の文化を 掘る・残す・活かす」（令和6年11月25日 札幌市）
- ⑥ 北海道学校図書館協会  
作者を囲んで「北緯44度浩太の夏」読書会（令和6年10月13日 札幌市）
- ⑦ 異文化異言語コミュニケーション協会  
チャリティー翻訳ワークショップ（令和7年3月1日 札幌市）

(共催)

- ① ダーチャ・マライーニ氏を日本に迎える会  
ダーチャ・マライーニ氏の札幌帰郷記念写真展（令和6年6月15日～19日 当館）
- ② アーティスト企画  
北林隆ギターリサイタル（令和6年10月9日 当館）
- ③ Sound Space クラシックコンサート実行委員会  
Sound Space クラシックコンサート（令和6年12月8日 当館）

#### VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を作成・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞等での有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館館報」は、第137号（5月23日付）、第138号（8月9日付）、第139号（11月6日付）、第140号（3月7日付）を発行した。「北海道文学館報」第133号（7月12日付）、第134号（10月20日付）、第135号（12月25日付）、第136号（3月6日付）を発行した。

## **Ⅶ 刊行物の刊行事業**

- ① 特別展「虚子・年尾と北海道」展図録の刊行
- ② 特別展「絵本作家 降矢なな原画」展リーフレットの刊行
- ③ 特別展「氷室冴子の世界」展図録の刊行
- ④ 特別展「木原直彦と北海道の文学」展図録の刊行
- ⑤ 「令和5年度年報」の刊行

## **Ⅷ その他の付帯事業**

- ① 博物館実習生の受入  
令和6年8月2日～8月9日（6日間）、実習生4名  
令和7年2月4日～2月12日（6日間）、実習生2名

## ■ 統計・資料 ■

### I 令和6年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展		特 別 展				計	
	北海道の文学	虚子・年尾と北海道	降矢なな展	氷室冴子展	ファミリー文学館	木原直彦と北海道		
開催日数	308	50	50	52	51	44		
有 料	個 人	一 般	161	2,390	2,465		67	6,031
		高大生	6	79	92		2	358
		小中生		3				3
		小 計	167	2,472	2,557	0	69	6,392
	団 体	一 般	179	729	373		137	2,236
		高大生	20	61	46		45	306
		小中生		276	26			302
		小 計	199	1,066	445		182	2,844
免除・招待	4,362	1,475	867	525	1,711	752	9,692	
観覧者総数	6,441	1,841	4,405	3,527	1,711	1,003	18,928	

### II 令和6年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別													計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
負 担 金 事 業	展 覧 会 事 業	常設展	569	752	671	675	668	658	497	468	233	371	427	452	6,441	
		虚子・年尾と北海道展	383	1,009	449											1,841
		降矢なな展			525	1,583	2,297									4,405
		氷室冴子展						1,113	1,509	905						3,527
		ファミリー文学館								235	775	701				1,711
		木原直彦展											508	495	1,003	
		小 計	952	1,761	1,645	2,258	2,965	1,771	2,006	1,608	1,008	1,072	935	947	18,928	
	教 育 普 及 事 業	講演会・セミナー・講話等	102	155	56	57	71	167	70	60	4		179	104	1,025	
		夏休み文学道場					21								21	
		小中高生短歌コンテスト						7,272			488	469			8,229	
		ファミリー文学館								43	110	92			245	
		映像作品鑑賞のつどい			48		42			39			47		176	
		地域連携事業 「文学館出前講座」		131	283	254	81		80	212					1,041	
		地域連携事業 「ミニ巡回展」		900	505	2,743		500	479				1,869	281	7,277	
		文字活字文化振興事業							29						29	
		古典の日記念朗読会								46					46	
		月例朗読会		22	29	25	38	34	35	40	33	46		46	348	
		わくわくこどもランド		40	8	87	12	7	5	37	61	44	29	22	352	
		文化施設連携事業 カルチャーナイト2024				191									191	
		文学資料の利用 (資料閲覧・共同研究)	177	192	176	225	294	280	224	252	188	193	186	221	2,608	
小 計	279	1,440	1,105	3,582	559	8,260	922	729	884	844	2,310	674	21,588			
文学愛好団体の文学活動	10	57	20	52	13	162	156	98	10	60	71	52	761			
計	289	1,497	1,125	3,634	572	8,422	1,078	827	894	904	2,381	726	22,349			
負担金事業計	1,241	3,258	2,770	5,892	3,537	10,193	3,084	2,435	1,902	1,976	3,316	1,673	41,277			
自 主 企 画 事 業	教育普及事業			53	46	56	46	42	42	20	22	22	373			
	文学館カレッジ								105					105		
	ロビーコンサート												440			
	中島公園ぶんがく緑日							440					440			
	ぶらり文学散歩			14			10	15					39			
	文学館まつり(9/23)						64						64			
	ロビー展示	296	668	648	760	840	690	918	738	83	139	209	6,485			
	文学館探検クイズ		1	1	3	11		1	2	1	2		2	24		
	文化公演の活動 (コンサート、朗読会)			63				55		30				148		
	自主企画事業計	296	669	779	809	907	810	1,471	887	134	163	231	522	7,678		
ボランティア活動状況		2	8	6	3	8	7	2	6		10	5	57			
その他(喫茶コーナー)	189	204	200	211	199	223	215	170	107	140	158	174	2,190			
合 計	1,726	4,133	3,757	6,918	4,646	11,234	4,777	3,494	2,149	2,279	3,715	2,374	51,202			

\*1 カルチャーナイト：常設展・特別展の夜間観覧者数(再掲)を加えると241人  
 \*2 文学館まつり：一日限りの資料公開(常設展・再掲)を加えると163人

### Ⅲ 令和6年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	557	814	1,371
雑 誌 資 料	297	3,365	3,662
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	36	911	947
計	890	5,090	5,980

〈主な収集特別資料〉

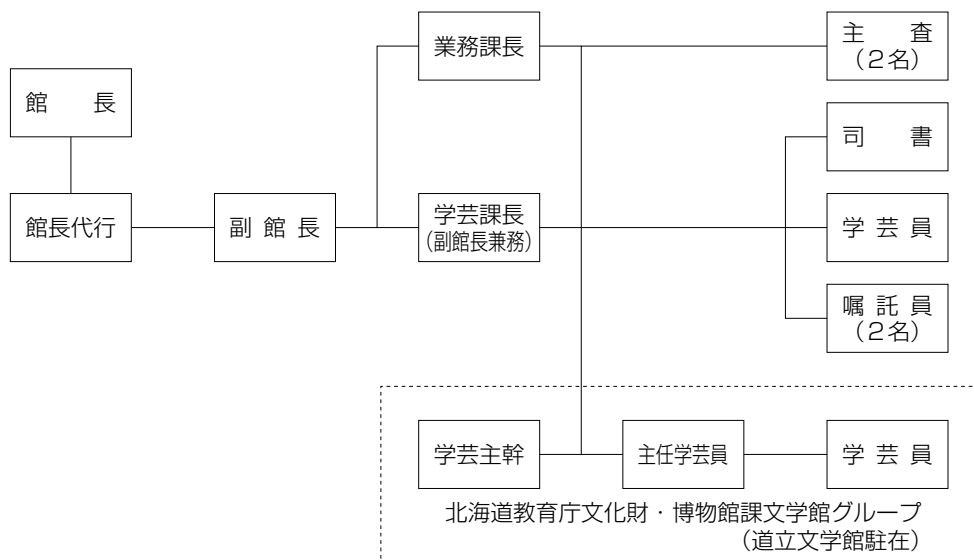
北村卓三宛長谷川四郎はがき	2点購入
長谷川四郎自筆原稿「美術映画とは？ 答える」	1点購入
映画ポスター「他人の顔」(脚本：安部公房)	1点購入
幽霊はここにいる 三幕十八景 第八回紀伊國屋演劇公演上演台本(安部公房サイン入り)	1点購入
映画「おとし穴」リーフレット(脚本：安部公房)	1点購入

公益財団法人北海道文学館への寄贈

更科源蔵関係資料(図書・雑誌、原稿、書簡など)	714点受贈
川村湊資料(図書・雑誌、書簡など)	210点受贈
とくさ短歌会関係図書・雑誌	681点受贈
牛島藤六関係資料(色紙、短冊など)	129点受贈
高浜虚子ら自筆資料(色紙、短冊)	18点受贈
	ほか

## ■ 組織及び職員 ■

### I 組織機構図



### II 職員

(令和7年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
館長	工藤正廣	学芸課 嘱託員	丹伊田 範子
館長代行 (財団副理事長)	武田信吾	学芸課 嘱託員	三井沙紀
副館長 (財団専務理事)	苦名直子	北海道教育庁文化財・博物館課 文学館グループ(道立文学館駐在)	
業務課 課長 (財団常務理事)	河野秀平		
業務課 主査	斎藤和巳		
業務課 主査	村瀬公夫	学芸主幹	佐藤由美加
学芸課 課長 (兼)	苦名直子	主任学芸員	吉成香織
学芸課 主査	佐々木啓子	学芸員	浦島七那
学芸課 学芸員	庄司后伶		

## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		
43	文学に見る北方風物展		
44	北海道旅の文学展		
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展		
46	北海道詩歌展		
47	目で見る札幌文学散歩		
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展		
49	文学に見る札幌風景展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展		
50	札幌の作家展(戦前の巻)、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展(戦後の巻)、川柳に見る戦後の札幌展		
51	碑に見る北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展		
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展		
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展—石森延男・その周辺—		
56	雑誌「北方文学」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	木島健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展—その絵と文学—		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌		
			「核」30周年記念展、和田謹吾理事長就任
		62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
		63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文化賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪—森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
		平成元	胆振文学展・目で見る風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展(札幌、旭川)
		2	児童文学「新十津川物語」展(札幌、新十津川)、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壘」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる—渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展—道東・道北編
		3	市町村文学誌展—道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
		4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記(室蘭)、北の文学風物誌展(冬の巻)、らいらっく文学賞展
		5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
		6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
			<b>〔北海道立文学館〕</b>
		7	北海道立文学館管理運営業務開始(財団法人北海道文学館受託) 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち(澤田誠一理事長就任)
		8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界

年次	事項	年次	事項
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔		
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代		
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』		
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展		
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		
14	特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド～きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂「ひとりの賑やかさ」～根室と霧と芸術家たち～（神谷忠孝理事長就任）		
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館―青森海峡浪漫～（北の20世紀）を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～		
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く―山田秀三の地名研究から―、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
18	北海道立文学館指定管理者制度開始（財団法人北海道文学館指定） 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金		
			次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
		19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書斎から～
		20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のこぼれ・人のこぼれ 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望す―八木義徳
		21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」―60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。―アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む―遙か [樺太] の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
		22	北海道立文学館指定管理者（財団法人北海道文学館指定） 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてビックリ！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
		23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録―書簡に見る文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、（公益財団法人北海道文学館に名称変更）
		24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界―私の木、心の木、ファミリー文学館・幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別

年次	事項	年次	事項
	展・新美南吉誕生100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学		「無言館」展、特別展・極の誘ひ 詩人吉田一穂展—あゝ麗はしい距離、ファミリー文学館・大本靖の版画でたどる北海道四季の風景、特別展・北海道の俳句～どこから来て、どこへ行くのか～ (平原一良理事長就任)
25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館・絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの—ジブリが読み解く“通俗文化の源流”—、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界—都市型宇宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって	令和元	特別展・よみがえれ!とこしえの加清純子～『阿寒に果つ』ヒロインの未完の青春～、特別展・歌川広重 ふたつの東海道五拾三次～保永堂版×丸清版～、特別展・ノンフィクション作家・保阪正康の仕事—「昭和史」との対話、ファミリー文学館・人形劇からとび出した人形たち、特別展・砂澤ビッキの詩と本棚
26	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル—後山一郎が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館・“うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学—野性よ退化する現代を撃て— (工藤正廣理事長就任)	2	特別展・『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展、特別展・作家たちの交差点—「北の話」が残した時間、ファミリー文学館・おいしい!美味しい!! 文学
27	特別展・没後1年・渡辺淳一の世界—『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代—大正イマジユリイの世界—、特別展・没後50年 文豪・谷崎潤一郎—愛と美を求めて、ファミリー文学館・ネコ!ねこ!猫!!、特別展・「さとぼろ」発見	3	特別展・太宰治—創作の舞台裏、特別展・天災地変人禍に抗して—北海道の災害と文学—、ファミリー文学館・彫り続けた北の自然—絵本画家・手島圭三郎の40年、特別展・小説挿絵の魅力—文芸作品に伴走して、特別展・「よみがえれ!とこしえの加清純子」再び
28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰志の場所(トボス)、特別展・ミッフィーのたのしいお花畑～ディック・ブルーナが描くお花と絵本の世界展、特別展・2016年の宮沢賢治—科学と祈りのこころ、ファミリー文学館・ワン!ニャン!どっちも大好き、特別展・「手仕事の日本」と民藝の思想	4	ファミリー文学館・花・彩々—文学の中に咲く—、特別展・地図と文学の素敵な関係、特別展・金子みすゞの世界、特別展・歿後10年吉本隆明—廃墟からの出立、特別展・細谷源二と齋藤玄 北方詩としての俳句
29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば—文学館・珠玉の300選、特別展・「北方文芸」と道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン島》2017—アントン・チェーホフの遺産、ファミリー文学館「絵本の動物園へようこそ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』	5	ファミリー文学館・ネコ!ねこ!猫!! II、特別展・小津安二郎～世界が愛した映像詩人～、特別展・『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉、特別展・左川ちか 黒衣の明星、特別展・100年の時を超える—<明治・大正期刊行本>探訪—
30	北海道立文学館指定管理者(公益財団法人北海道文学館指定) 特別展・没後50年 子母澤寛 無頼三代蝦夷の夢、特別展・戦没画学生慰霊美術館	6	特別展・虚子・年尾と北海道、特別展・絵本作家 降矢なな 原画展、特別展・氷室冴子の世界 ふくれつつらのヒロインたち、ファミリー文学館・雪が降る一本の中にも、文字の上にも……、特別展・木原直彦と北海道の文学

## II 運営日誌

令和6年

- 4月12日(金) ロビー展示「加藤幸子追悼展」(～4月28日)
- 4月13日(土) 常設展 文学館アーカイブ第1期「山と文学」(～6月12日)
- 4月20日(土) 特別展「虚子・年尾と北海道」(～6月9日)
- 4月21日(日) 虚子・年尾展 対談「虚子・年尾と私」(対談：荒船青嶺、佐藤宣子、増田植歌)
- 4月23日(火) ミニ巡回展「花－文学の中にさく四季の花」(京極町、～5月31日)
- 4月27日(土) 虚子・年尾展 展覧会見どころ紹介講座(講師：五十嵐秀彦)
- 4月29日(月) ロビー展示「四季の美味しい文学／春」(～6月14日)
- 5月5日(日) わくわくこどもランド「こいのほりをつくろう！」(講師：当館職員)
- 5月5日(日) わくわくこどもランド「人形劇」(出演：人形劇団とらえもん)
- 5月15日(水) 常設展アーカイブ 山と文学講座「坂本直行」(講師：佐藤学芸主幹)
- 5月18日(土) 虚子・年尾展 対談「虚子の心を引き継いで」(対談：稲畑廣太郎、星野高士、増田植歌)
- 5月19日(日) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(網走市、出演：クレヨンカンパニー)
- 5月23日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 5月29日(水) 常設展アーカイブ 山と文学講座「一原有徳」(講師：佐藤学芸主幹)
- 5月31日(金) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(砂川市、出演：岸田典大)
- 6月2日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 6月5日(水) ミニ巡回展「ネコ！ねこ！猫！！」(古平町、～6月14日)
- 6月12日(水) 文学館出前講座「創作講座」(釧路市・釧路明輝高校、講師：升井純子)
- 6月13日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読表現 ゆうの会)
- 6月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師：工藤正廣)
- 6月15日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう－21世紀の新しい絵本たち、講師：久保田知恵子)
- 6月15日(土) ダーチャ・マライーニ展(～6月19日)
- 6月20日(木) 文学館出前講座「朗読とギターの演奏」(栗山町、出演：田村英一、演奏：佐藤洋一)
- 6月22日(土) 特別展「絵本作家 降矢なな 原画」展(～8月25日)
- 6月22日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師：小野有五)
- 6月22日(土) 文学館カレッジ(加藤幸子の人と文学、講師：平原一良)
- 6月22日(土) ロビー展示「四季の美味しい文学／夏」(～9月22日)
- 6月23日(日) 第1回映像作品鑑賞のつどい「山と谷と雲」
- 6月23日(日) 文学館出前講座「村上春樹と物語の機能」(鹿追町、講師：中村三春)
- 6月25日(火) 常設展 文学館アーカイブ第2期「嗚呼 メレヨン島」(～9月16日)
- 6月27日(木) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(平取町・平取養護学校、出演：クレヨンカンパニー)
- 6月27日(木) ぶらり文学散歩(三岸好太郎美術館、当館職員等)
- 6月28日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師：中澤千磨夫)
- 6月28日(金) 文学館出前講座「村上春樹と物語の機能」(江別市・立命館慶祥高校、講師：中村三春)
- 6月29日(土) 降矢なな展 講演会「絵本～絵とテキストの関係～」(講師：降矢なな)
- 6月29日(土) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(弟子屈町、出演：岸田典大)
- 6月29日(土) ミニ巡回展「おいしい！美味しい！！文学」(留萌市、～7月14日)
- 6月30日(日) 文学館出前講座「『万葉集』の世界」(幕別町、講師：月岡道晴)
- 7月1日(月) ミニ巡回展「北海道の短歌100首」(幕別町、～7月31日)
- 7月5日(金) 文学館出前講座「『源氏物語』の朗読」(遠軽町、朗読：堀きよ美、演奏：黒田拓)
- 7月7日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「こぶたのぶーぶ」)
- 7月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：朗読糸の会)
- 7月15日(月) 降矢なな展 講演会「本はふしぎへの扉」(講師：富安陽子)
- 7月18日(木) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(釧路市・釧路養護学校、出演：岸田典大)
- 7月19日(金) カルチャーナイト2024(常設展示室無料開放、特別展示室夜間開館、ミニコンサート、古書バザール、ナイトギャラリーツアー、大人も楽しめる人形劇)

- 7月20日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師:工藤正廣)
- 7月20日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう-21世紀の新しい絵本たち、講師:横田由紀子)
- 7月26日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師:中澤千磨夫)
- 7月27日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師:小野有五)
- 7月27日(土) 降矢なな展 ギャラリーツアー(講師:当館学芸員)
- 7月28日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・サマーブックをつくろう!、講師:当館職員)
- 7月30日(火) 文学館活用学習のための指導者研修(講師:当館学芸員)
- 7月31日(水) ~8月1日(木) わくわくこどもランド(手作り教室・紙芝居をつくろう!、講師:当館職員)
- 7月31日(水) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(幌延町、出演:岸田典大)
- 8月2日(金) ~8月9日(金) 博物館実習
- 8月3日(土) 文学館出前講座「『源氏物語』の朗読」(室蘭市、朗読:堀きよ美、演奏:黒田拓)
- 8月4日(日) わくわくこどもランド(夏休みスペシャル「腹話術、マジック、マリオネット」、出演:腹笑会)
- 8月7日(水) 夏休み文学道場(中・高生のための創作講座、講師:小路幸也)
- 8月8日(木) 月例朗読会「北の響~名作を声にのせて~」(朗読:朗読を楽しむ会)
- 8月10日(土) 降矢なな展 読み聞かせとワークショップ(講師:当館学芸員)
- 8月11日(日) 常設展アーカイブ「嗚呼メレヨン島 柿本胤二遺作絵画展」記念講演会(講師:谷口孝男、苦名副館長)
- 8月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師:工藤正廣)
- 8月17日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう-21世紀の新しい絵本たち、講師:吉井暉子)
- 8月18日(日) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(留萌市、出演:クレヨンカンパニー)
- 8月18日(日) 降矢なな展 見どころ解説講座(講師:当館学芸員)
- 8月23日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師:中澤千磨夫)
- 8月23日(金) ミニ巡回展「北海道の災害と文学」(苫前町、~9月23日)
- 8月24日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師:小野有五)
- 8月24日(土) 文学館カレッジ(太宰治-戦後の女性小説、講師:中村三春)
- 8月25日(日) 第2回映像作品鑑賞のつどい「堂堂たる人生」
- 9月1日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「SKY」、当館職員)
- 9月7日(土) 特別展「氷室冴子の世界」オープン(~11月10日)
- 9月11日(水) ぶらり文学散歩(護国神社~文学館、講師:当館職員)
- 9月12日(木) 月例朗読会「北の響~名作を声にのせて~」(朗読:ドラマチックリーディンググループさ・く・ら)
- 9月15日(日) 氷室冴子展 講演会「氷室作品のヒロインたち その魅力」(講師:嵯峨景子)
- 9月16日(月) 氷室冴子展 文芸トーク「氷室冴子さんと私の文学少女時代」(講師:ヤリタミサコ、聞き手:嵯峨景子)
- 9月21日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師:工藤正廣)
- 9月21日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう-21世紀の新しい絵本たち、講師:横田由紀子)
- 9月22日(日) 氷室冴子展 上映会「海がきこえる」
- 9月23日(月) 文学館まつり(常設展の無料開放、ミニコンサート、講演会「日常の中にあるもの」、講師:朝倉かすみ、一日限りの資料公開、手作りコーナー(秋のミニ色紙づくり、ゆらゆらアニマルをつくろう))
- 9月25日(水) ロビー展示「四季の美味しい文学/秋」(~12月5日)
- 9月27日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師:中澤千磨夫)
- 9月28日(土) 常設展 文学館アーカイブ第3期「森田たまと素木しづ」(~12月28日)
- 9月28日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師:小野有五)
- 9月29日(日) 氷室冴子展 上映会「没後15年 氷室冴子をリレーする」
- 10月5日(日) 氷室冴子展 トークイベント「氷室冴子さんとコミカライズ」(講師:山内直実)
- 10月6日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「にじいろ」)
- 10月9日(水) 氷室冴子展 上映会「没後15年 氷室冴子をリレーする」

- 10月9日(水) 北林 隆ギターリサイタル(財団共催)
- 10月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読表現「ゆうの会」)
- 10月10日(木) ミニ巡回展「ネコ!ねこ!猫!!」(~10月20日、音更町)
- 10月13日(日) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(八雲町、出演:岸田典大)
- 10月13日(日) 中島公園ぶながく縁日(ぶながく縁日、絵本交換会、朗読会「歿後15年原田康子の世界」、朗読:堀きよ美)
- 10月14日(月) 中島公園ぶながく縁日(ぶながく縁日、絵本交換会、講演会「『古事記』から『銀の海 金の大地』へ」、講師:金沢英之)
- 10月18日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師:中澤千磨夫)
- 10月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師:工藤正廣)
- 10月19日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう-21世紀の新しい絵本たち、講師:藤田進)
- 10月23日(水) 氷室冴子展 上映会「没後15年 氷室冴子をリレーする」
- 10月24日(木) ぶらり文学散歩(北海道大学、講師:当館職員)
- 10月25日(金) 文学館出前講座「ことばを声に乗せて味わう朗読講座」(帯広市、講師:田村英一)
- 10月26日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師:小野有五)
- 10月27日(日) 文字・活字文化の日関連事業講演会(講演会「活字文化の味蓄」、講師:和田由美)
- 11月3日(日) ロビーコンサート(ハープと竖琴、演奏:ラマンブルーハープアンサンブル、ライアーデュオたまゆり)
- 11月3日(日) 古典の日記念朗読会『源氏物語』より「末摘花」(朗読:河原多恵子、演奏:手塚早苗)
- 11月3日(日) ロビーコンサート(チェロ、演奏:西村新一)
- 11月4日(月) 氷室冴子展 中学生朗読劇「レディ・アンを探して」(出演:札幌市立篠路中学校生徒)
- 11月6日(水) 氷室冴子展 上映会「没後15年 氷室冴子をリレーする」
- 11月7日(木) ロビーコンサート(ギター、演奏:鉢呂勝徳、吉泉恵子、茶木彰・和江、山崎隆志・京子)
- 11月7日(木) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(旭川市・旭川聾学校、出演:クレヨンカンパニー)
- 11月7日(木) 文学館出前講座「昭和歌謡を読む-阿久悠の場合」(七飯町、出演:中澤千磨夫)
- 11月10日(日) わくわくこどもランド(親子で楽しむ人形劇、出演:人形劇団ブランコ、こぶしっこ)
- 11月12日(火) 文学館出前講座「俳句を詠もう-自由に俳句を作る」(秩父別町、講師:五十嵐秀彦)
- 11月14日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読 糸の会)
- 11月16日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会「日本語を考える」、講師:工藤正廣)
- 11月16日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう-21世紀の新しい絵本たち、講師:杉浦篤子)
- 11月16日(土) 文学館出前講座「俳句を詠もう-自由に俳句を作る」(伊達市、講師:五十嵐秀彦)
- 11月17日(日) 第3回映像作品鑑賞のついで「伊豆の踊子」
- 11月19日(火) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(旭川市・緑が丘小学校、出演:岸田典大)
- 11月22日(金) 文学館カレッジ(逆順太宰治、講師:中澤千磨夫)
- 11月23日(土) ファミリー文学館「雪が降る-本の中にも、文字の上にも……」オープン(~1月19日)
- 11月23日(土) ファミリー文学館 短詩型文学講座「短歌に描かれた雪」(講師:田中綾)
- 11月24日(日) ファミリー文学館 手作りコーナー(講師:当館職員)
- 11月29日(金) 文学館出前講座「創作講座中高生を対象に」(安平町・追分中学校、講師:升井純子)
- 11月30日(土) 文学館カレッジ(知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師:小野有五)
- 12月1日(日) ファミリー文学館 朗読会「雪が降る」(出演:澤井貴良子)
- 12月5日(木) 常設展アーカイブ「森田たまと素木しづ」講座(講師:当館職員)
- 12月7日(土) ファミリー文学館 短詩型文学講座「俳句に描かれた雪」(講師:五十嵐秀彦)
- 12月7日(土) 第19回北海道小・中・高生短歌コンテスト作品展示(~1月19日)
- 12月8日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・ツリーをつくろう!、講師:当館職員)
- 12月8日(日) 第24回 Sound Space クラシックコンサート~フルート&クラシックギターの奏~(財団共催)
- 12月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読を楽しむ会)
- 12月14日(土) 第19回北海道小・中・高生短歌コンテスト表彰式
- 12月15日(日) わくわくこどもランド(手作り教室・すごろくをつくろう!、講師:当館職員)

- 12月21日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会「日本語を考える」、講師：工藤正廣)  
 12月21日 (土) 文学館カレッジ (知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師：小野有五)  
 12月22日 (日) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「絵本の読み聞かせ」、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)  
 12月22日 (日) ファミリー文学館 手作りコーナー (講師：当館職員)

令和7年

- 1月7日 (火) ミニ巡回展「ネコ！ねこ！猫！！」(鷹栖町、～2月27日)  
 1月7日 (火) 文学館活用学習充実のための指導者研修 (講師：当館職員)  
 1月9日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：村井裕子、演奏：手島慶子)  
 1月11日 (土) 常設展 文学館アーカイブ第4期「札幌の映画と演劇」(～3月23日)  
 1月11日 (土) ファミリー文学館 短詩型文学講座「川柳に描かれた雪」(講師：岡崎守)  
 1月12日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室・ウインターブックをつくろう！、講師：当館職員)  
 1月13日 (月) ファミリー文学館 手作りコーナー (講師：当館職員)  
 1月18日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会「日本語を考える」、講師：工藤正廣)  
 1月19日 (日) ファミリー文学館 朗読会「雪が降る」(朗読：安藤千鶴子)  
 1月20日 (月) ミニ巡回展「おいしい！美味しい！！文学」(壮瞥町、～2月28日)  
 1月24日 (金) 文学館カレッジ (逆順太宰治、講師：中澤千磨夫)  
 1月25日 (土) 文学館カレッジ (知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師：小野有五)  
 1月25日 (土) ロビー展示「李恢成氏追悼展」(～2月9日)  
 2月1日 (土) 特別展「木原直彦と北海道の文学」(～3月23日)・オープニングセレモニー  
 2月1日 (土) 木原直彦展 講演会「わが小説のこと」(講師：小檜山博)  
 2月2日 (日) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「SKY」)  
 2月4日 (火) 博物館実習 (～2月12日)  
 2月8日 (土) 木原直彦展 講座「有島武郎 北海道に伝えた白樺の精神」(講師：佐藤学芸主幹)  
 2月12日 (水) 木原直彦展 ミニ解説&朗読会① (解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)  
 2月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵)  
 2月15日 (土) ロビー展示「四季の美味しい文学／冬」(～3月31日)  
 2月15日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会「日本語を考える」、講師：工藤正廣)  
 2月15日 (土) 木原直彦展 ギャラリー・ツアー (解説：当館学芸員)  
 2月16日 (日) 第4回映像作品鑑賞のつどい「いのちの朝」  
 2月19日 (水) 木原直彦展 ミニ解説&朗読会② (解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)  
 2月22日 (土) 木原直彦展 ギャラリー・ツアー (解説：当館学芸員)  
 2月22日 (土) 文学館カレッジ (知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師：小野有五)  
 2月26日 (水) 木原直彦展 ミニ解説&朗読会③ (解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)  
 2月27日 (木) 常設展アーカイブ講座「札幌の映画と演劇」(講師：当館学芸員)  
 3月1日 (土) 木原直彦展 講座「船山馨『石狩平野』での復活」(講師：吉成主任学芸員)  
 3月2日 (日) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせ、出演：読み聞かせボランティア「トムテ」)  
 3月5日 (水) 木原直彦展 ミニ解説&朗読会④ (解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)  
 3月8日 (土) 木原直彦展 ギャラリー・ツアー (解説：当館学芸員)  
 3月9日 (日) 木原直彦展 講座「子母澤寛 敗残者の夢、そして母と弟」(講師：苦名副館長)  
 3月12日 (水) 木原直彦展 ミニ解説&朗読会⑤ (解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者)  
 3月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読：月夜見の会)  
 3月15日 (土) 文学館カレッジ (生涯読書会「日本語を考える」、講師：工藤正廣)  
 3月15日 (土) 木原直彦展 ギャラリー・ツアー (解説：当館学芸員)  
 3月16日 (日) 木原直彦展 講座「原田康子 作品が放つ魅力」(講師：庄司学芸員)  
 3月22日 (土) 文学館カレッジ (知里幸恵とアイヌ神謡集を読み解く、講師：小野有五)  
 3月28日 (金) 文学館カレッジ (逆順太宰治、講師：中澤千磨夫)

### Ⅲ 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(令和7年3月31日現在)

<b>顧問</b>	池澤 夏樹	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒卷 義雄	工藤 正廣
						(6名)
<b>参与</b>	小杉 捷七	佐々木 譲	高畠 二郎	藤堂志津子	永井 浩	村田 俊秋
	谷 暎子	出村 文理	野坂 幸弘	内田 弘	岡崎 守	本田 優子
	酒向 憲司	安高 誠吾	柴村 紀代	森 一生	前川公美夫	三浦 幸司
						(18名)

#### 役職員

<b>理事長</b> 1	平 原 一 良	<b>監 事</b> 1	中 村 孝 一	<b>評 議 員</b> 1	赤 木 国 香
<b>副理事長</b> 2	中 澤 千 磨 夫	// 2	阿 知 良 光 治	// 2	石 本 裕 之
// 3	高 橋 秀 明			// 3	飯 塚 優 子
// 4	武 田 信 吾			// 4	岡 美 紗 緒
<b>専務理事</b> 5	苦 名 直 子			// 5	岸 美 千 代
<b>常務理事</b> 6	河 野 秀 平			// 6	來 嶋 路 子
<b>理 事</b> 7	浅 川 泰			// 7	柴 田 望
// 8	五 十 嵐 秀 彦			// 8	下 村 美 穂
// 9	熊 谷 ユリヤ			// 9	田 口 耕 平
// 10	澤 田 展 人			// 10	田 中 厚 一
// 11	瀬 戸 正 昭			// 11	田 村 英 一
// 12	立 花 峰 夫			// 12	寺 田 文 恵
// 13	田 中 綾 男			// 13	豊 川 容 子
// 14	谷 口 孝 隆			// 14	中 村 三 春
// 15	中 館 康 子			// 15	藤 田 美 和 子
// 16	成 田 康 子			// 16	古 川 奈 央
// 17	日 浅 尚 子			// 17	升 井 純 子
// 18	横 田 由 紀 子			// 18	増 田 植 歌
// 19	若 宮 明 彦			// 19	松 本 淳 子
// 20	和 田 由 美			// 20	森 久 美 子
				// 21	盛 昭 史
				// 22	山 田 航

#### 収集資料選定評価専門委員会資料収集検討委員会

<b>理 事 長</b>	平 原 一 良
<b>理 事</b>	田 中 綾
<b>理 事</b>	中 館 寛 隆
<b>理 事</b>	成 田 康 子
<b>理 事</b>	増 田 植 歌
<b>評 議 員</b>	盛 昭 史

#### 企画検討委員会

<b>理 事 長</b>	平 原 一 良
<b>副 理 事 長</b>	中 澤 千 磨 夫
<b>副 理 事 長</b>	高 橋 秀 明
<b>副 理 事 長</b>	武 田 信 吾
<b>評 議 員</b>	飯 塚 優 子
<b>理 事</b>	五 十 嵐 秀 彦
<b>理 事</b>	瀬 戸 正 昭
<b>理 事</b>	谷 口 孝 男
<b>理 事</b>	日 浅 尚 子
<b>理 事</b>	横 田 由 紀 子



令和6年度年報（令和8年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号  
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266